

平成23年3月2日

世田谷区教育委員会 殿

船橋希望学舎 代表校長
世田谷区立船橋中学校長 徳永 啓介

平成23年度 世田谷9年教育 船橋希望学舎の教育計画

1 学舎・学び舎名、所属する学校名、校長名

船橋希望学舎

世田谷区立船橋中学校	校長	徳永	啓介
世田谷区立希望丘中学校	校長	直田	益明
世田谷区立経堂小学校	校長	百瀬	積
世田谷区立祖師谷小学校	校長	平松	有理子
世田谷区立八幡山小学校	校長	佐藤	恵一
世田谷区立船橋小学校	校長	小島	誠
世田谷区立希望丘小学校	校長	千葉	秀一
世田谷区立千歳台小学校	校長	塚田	俊雄

2 学舎・学び舎の教育目標

- (1) 豊かな人間性を育む
- (2) 確かな学力をつける
- (3) 健やかな身体を育てる

3 学舎・学び舎の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣や善悪を判断し、集団や社会のきまりを守る規範意識の形成や自己肯定感の育成、相手を思いやる心の涵養を図りつつ、人間としての生き方や、自己の個性や適性を探究する経験などを通して自己の在り方についての考えを深めさせる。
- (2) 学校や家庭、地域などの集団の一員としての役割を自覚させ、主体的な責任意識を育成する。
- (3) 基本的な学習習慣を身につけ、主体的に取り組み自己をより高める基礎・基本を確実に身につけ、自分の考えを表現し、コラボレーション能力を身につけるよう発展的な学習にも意欲的に取り組み、自己実現を図らせる。
- (4) 運動の楽しさを味わいながら体力の向上を図り、健康で安全な生活を営もうとする意欲を持ち、健康を適切に管理し改善していく能力を育てる。
- (5) 日常の食事への関心を高め、食事の重要性（役割）や楽しい食事、望ましい食習慣を理解させ、食が人間関係を深めたり、伝統・文化を伝えたりする役割を知り、心身の健康によい食習慣を心がけようとする意欲を育てる。

4 教育目標・重点目標を達成するための基本方針

- (1) 学舎内の教職員の連携を密にし、目標達成に向けて発達段階に応じた具体的な取り組みを計画し、実行していく。また、児童・生徒の交流を図っていく。
- (2) 小中合同研究会や学習習得確認調査を実施し、基礎的基本的な内容等の定着状況を把握し、各学校での指導の改善、充実をすすめ、授業改善に向けての取り組みを推進する。

- (3) 家庭、地域との連携を深め、保護者や地域の方々の学校運営、教育活動への参画を進めるとともに、学校関係者評価を学校改善に生かし、地域とともに子どもを育てる開かれた学舎を推進する。
- (4) 学舎内に、校長連絡会、副校長連絡会、合同企画委員会、教務主任連絡会、生活指導主任連絡会、研究主任連絡会の組織をつくり、具体的に進めていく。

5 世田谷9年教育で育てたい力・資質の実現のための方針

(1) 豊かな人間性

- ① 人権尊重教育を基盤にし、道徳教育を通して豊かな情操と道徳心を培い、人格の形成を図る。特に「人格の完成を目指して」の取り組みと合わせて、教育活動全体を通して、正義感、責任感、規範意識を高め、自主自律の精神を育成する。
- ② 発達段階に応じた望ましい集団活動を通して、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な生活態度を育てる。

(2) 豊かな知力

- ① 世田谷教育要領をもとに、発達段階に応じて、各教科の指導方法や指導体制の工夫改善に取り組み、個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の定着を図るとともに、発展的な内容にも取り組み、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、コラボレーション能力を育成する。
- ② 人生は選択の連続であり、肯定的な自己理解や情報活用能力を高め、その時の場面や状況に応じて適切な選択をし、自分の選択や行動に責任を持てる態度を養う。

(3) 健やかな身体

- ① 心身共に健康な生徒の育成のため、食育の推進ならびに「一校一取組」「一学級一実践」を推進し、体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導について、教育活動全体で行うとともに、家庭や地域社会との連携を図る。
- ② 部活動等の交流を通して、体力の向上や安全に対する意欲を育て、実践する児童・生徒を育てる。

(4) ことばの力

- ① 日常の生活の中で心のこもった元気なあいさつができるように、学舎の地域に住む人々の顔を知り、学舎としてあいさつ週間を推進し、児童・生徒の交流や保護者・地域の方々にも参加、協力を求める。
- ② 言葉に関心を持ち、言葉を大切にする教育活動を行う「美しい日本語を世田谷の学校から」の取組を進めるとともに、すべての教育活動を通して、児童・生徒の言葉に対する関心、理解を深め、人権尊重の精神に基づき相手を思いやる「時と場合に応じた言葉づかい」、自分の思いを表現する「心を表わす言葉」など、言葉を大切にする生徒を育てる。
- ③ 教科「日本語」を通して、深く考え、自分の考えや思いを表現し、日本文化を理解し、大切にして、継承・発展させることのできる児童・生徒を育成する。
- ④ 朝読書の時間や読書週間を設定し、本やことばに親しむ機会を増やし、児童・生徒の関心を高める。読書感想文や本の紹介を通して、児童・生徒の交流を進める。